

英米語学学科新聞

半年留学帰国生 ぶっちゃけトーク —「今」そして「日本」

池庄司(豪)「バスとか電車が時間通りに来るし、自動販売機が多い！便利過ぎ！」

田邊(英)「電車やバスの中で携帯で話してる人がいない。基本静か。ATMが24時間使えないのは意外に不便。たった半年なのに、日本のことすっかり忘れてた！」

●海外での気付き 日本人のよところは？

拓大のウリである半年留学。その生々しい実態が語られることはほとんどない。彼らには語るに足る経験があっても、自由に語る場所がない。そこで塩崎ゼミは3人の帰国ゼミ生に、イギリス留学経験者の田邊美紀さんを加え、いくつかのテーマについて自由に語ってもらった。

参加学生(全員4年生)
カナダ 岡田萌香
イギリス 田邊美紀
オーストラリア 青柳大喜
池庄司明希

●日本に帰ってきて 最初に思ったことは？

青柳(豪)「日本語そのものが変な感じでした。コンピュータで無意識に、サンキューって言っちゃった時は気色悪かったわー。笑」

田邊(英)「協調性があるところ。他国の文化に合わせる事ができる。例えばサウジアラビア人は左手はトイレに使う汚い手、右手はご飯とか握手に使う手。彼らと接する時、日本人はちゃんとこのルールに従う。郷に入るとは郷に従えって感じ」

岡田(加)「分かる！協調性はすごく感じた。グループディスカッションしても他国の人意見もまともでした」

●海外での気付き 日本人のどこがダメ？

岡田(加)「目標感覚が薄いとこ。外国人の方が目標意識が強いし、未来を楽しみにしてる気がする。何より人生を楽しんでる人がすごく多いって思った」

P1. 留学体験談

青柳大喜, 岡田萌香
池庄司明希 記者

P2. 就活生のつぶやき特集

渡辺翔太, 大和田綾花 記者

P3. 男子力・女子力調査

船山瞳, 矢野瑞起, 福永瑛作 記者

オレ流就活—内定の極意

高橋俊哉 記者

P4. 映画英語勉強法 井口美樹 記者

P5. 新社会人インタビュー

齋藤慶徳 記者

編集後記 船山瞳編集長

P6. COMON EVERYBODY 汐崎悟志 顧問

最近だと「SE」っていう、ロンドン(の)学校の講義を動画で見てる」

ちよつと小話

田邊(英)「イギリスの大学は勉強以外のことは何もなくていいように掃除とか全てやってくれて。図書館は24時間で、シャワー、コンビニ、カフェもある。そこで生活できるんじゃないかっていうくらい充実している。拓大八王子の図書館って市立図書館と変わらないレベルだよ」

岡田(加)「バンクーバーはねーホームレス、めっちゃ多くて衝撃だった。ヘアスタイリングストリートってところはマジでソープ・タウン。笑。貧富の差が半端じゃない」

池庄司(豪)「オーストラリアはお店が5時には閉まる。笑。早すぎてなんもできない。あと町中裸足で歩いてる人がゴロゴロいる」

青柳(豪)「俺が思ったのは、お酒の飲み方が国によって違う。日本だとつまみと一緒に飲むけど向こうは酒だけ！って感じ。1杯目はビールとかいじり決まりもないし。いきなりウォッカとかいたわー。笑」

田邊(英)「確かに！みんながするからするって感じがあるよねー。色んな国の人に、なんでこんな若いのにもう就活するの？って言われた(笑)。「皆と同じ」がいいって感覚あるよね？」

池庄司(豪)「そうそう。他と違うことが悪い感ある。就活で黒髪にしなさいといけないって言ったら先生に、なんで？みんなと同じにしなさいよっていわれた」

田邊(英)「イギリスは間違えることが当たり前。文化だから、失敗してもok。アクセントとかにもすごく寛容だもんね」

青柳(豪)「発音に関して言えば、日本人は変にプライドがあってネイティブみたいになろうとする。周りの目気にしすぎて、逆に上達しないのかなって思った」

岡田(加)「私は就職してお金が貯まったら海外の大学に行きたい。あわよくば向こうで働きたい。7か月生活して、買いたい物旅行、一人で行くのも出て来たから自信がついた。神田外大出て、向こうの大学で職員として雇われていた人もいたし」

田邊(英)「就職してお金貯めて、イギリスの大学院を卒業したい！高いレベルの英語の中で生きていきたい。知りたいたくことが多いから大学院で勉強したい。今は宗教関係に興味持ってるの！」

池庄司(豪)「私は院とか海外で働くことは考えてないけど、海外進出してる企業を志望してるかな。将来はホストファミリー側になって自分がしてもらったことを今度は逆にしたい」

青柳(豪)「皆と同じで英語無しの生活が考えられない。今は国際関係を勉強したい。海外の大学院に行くのが目標かな」

●大学時代にやっておいたことがいいこと
—アドバイス—

岡田(加)「私は目標をもって大学生活を送るべきだと思う。拓大の授業



(青柳大喜・池庄司明希・岡田萌香)

とか！特にライティングは海外のエッセイの書き方とかかなり重複する部分があったかな。もっとちゃんとやれば、留学先でもっと上のクラス行けたかなって思う」

田邊(英)「とにかく外に出る！人に会う！人がやらないことをやる！向こうの人の学びたいっていう貪欲な姿勢がカッコいいなって思った」

池庄司(豪)「あたしも似てて、年齢、国籍問わずいるんなら話す！外に出ていろいろ体験した方がいいと思う」

青柳(豪)「留学はスタート地点。本当に人生変わる。半年留学で英語学習で終わるんじゃないやなくて、できれば交換留学を目指した方が賢いと思います」

速報！ 就活生つぶやき特集

4年生の就職活動が終盤を迎えている。人生初の悲喜こもこものスーパリアル体験だ。彼らのホンネのつぶやきのいくつかを紹介しよう。

●「やりました・・・」
冷や汗編

white lie のススメ
正直すぎて、ウソをつくのが下手なんだよね。実際に正直に第一志望の選考がまだなので、入社度50%と言ったら、その態度が滲みでてると言われ、当日にお祈りメールで本当にショック。white lieは必要なんだね。面接中に号泣！
アパレルの面接で、

アパレルへの熱い想いを語ったら、「君の考えは甘い。アパレル業界は君が考えているところと違つ」とぼささり。その場で思わず号泣してしまっただけ、なぜかその面接で合格してました！

●「経験しないと分からない」驚き、アドバイス編

参考にならない参考書

参考書に書かれていることは正しいとは限らないと思っただよ。面接本などにはアルバイトについてはあまり話さないほうが良いというアドバイスがあるけど、特にサービスマスの面接では沢山聞かれるんだよね。人と違うことや珍しい経験をしておくと言目してもらえらなってるんだよ。
エンタメ業界ならではのエンタメ業界ならではのだけけど、「何か面白い話をして下さい」と言われたこと

に驚いた。エンタメ業界を受ける人はいくつか人を笑わせるエピソードを持っていたほうがいいかも自分なりの武器でアピール！
書類審査が、A4の紙2枚で好きなように自分をPRするというもの、そういうの通った試しがなかったから半ばやけくそで、「二次面接では趣味で集めてきた交通系ICカードを持っていきます！最終面接では高校時代にやっていた書道披露します！」と書いて、面接ごとに特典あるアピールをしたら効果てきめん！最終面接に呼んでもらえることになりました！

●「これが就活だ！」
就活の醍醐味編

英語での面接に緊張

外資系のメーカーの最終面接が外国人の社長で英語を4年間学んできたけど、なかなか自分の思っていることを話せなかったかな！

特殊な就活

英会話教室でロールプレイがあったり、航空の試験でパイロットが突然倒れたらどうしますか？と聞かれたりしたのは焦ったなあ。
就活は出会いの場
グループディスカッションの後、飲みに行ったり、連絡先を交換することもありました。男女交際に発展した人もいます！

企業の人との交流

展示会に参加し、企業の人と交流し、一部ではあるけど、営業の仕方を知れた。社員の人と知り合えたし、色々な会社での展示会を見れたおかげで、より自分の会社の社風や社員の雰囲気を知ることができたよ。展示会の後の飲み会では、お酒が入っての話だから、若い社員の本音も聞けたな。
心理テスト！
個人面接で「自分を動物に例えると何ですか？」、「では自分を例えませんか？」。不思議な質問の2連発。動物は自分の外

見で、物は自分の中身が分かるらしい(笑)
●「えーこんなことまで？」意外な質問集

・家族構成について
両親の年齢から勤務先、高校生の妹の学校名まで。

・あなたは初任給を貰いました。そのお給料で家族に何かプレゼントをします。何をあげますか？

・あなたにとって家族とは何ですか？

・もしも願いが一つだけ叶うなら？

・自分を家電に例えるなら？

・コンビニで売っているものを自分に当てはめると？

就活をしていく中で、参考書に書いていないことや想定外のことや起こることもあるようだ。臨機応変な対応をすることが求められるだろう。大切なのは自分の想いや考えを自分の言葉で伝えられることではないだろうか。

Takushoku univ.



(渡辺翔太・大和田綾花)

その男子力・女子力ホント？

誰しも気になる異性の視線。当然ネット上のまとめサイトでも、男子力・女子力についてのコメントは多い。塩崎ゼミ恋愛担当チーム（福永 松山 矢野）が総力を結集し、それぞれの何たるかを集計し、それが拓大英米語学科生についても当てはまるかどうかを検証してみた。

ネット上の意見
まずはネット上の14サイト（男子力・女子力各7サイト）の意見から、男子力・女子力トップ3を挙げてみる。

【男子力】	
1位	頼もしい・リードができる
2位	優しい・包容力がある
3位	対応力・冷静さがある

【女子力】	
1位	身だしなみ・外見に気を使う
2位	品の良さ(言葉遣い、字の綺麗さを含む)
3位	家庭的・料理上手

【男子力】	
1位	レディーファースト
2位	シンプルな服装
3位	その人に合う服装

英米語学科生の意見

ネット上に散見される男子力・女子力は永遠不変のそれであることがわかった。女は男についていき、男は女の内面については二の次であるようだ。

次に、英米語学科生にとっての男子力・女子力はどうだろうか。学科内で男女それぞれ15名ずつ、30名しアンケートを実施した。

Q. あなたが思う男子力・女子力とは？

【女子力】	
1位	家庭的
2位	優しい
3位	気が利く

男子力は、レディーファーストに見られるように西洋かぶれ丸出したが、それ以外は、外面に終始している。一方女子力は内面ばかりだ。

意外に西洋化している？

英米語学科生

先の違いを我々は次のように分析してみた。まとめサイトの意見としては、男子力には「頼もしさ」や「優しい」といった内面的な要素を求める声、女子力には「身だしなみ」「品の良さ」など、外面的な要素を求める声が多い。男性は家庭を支える大黒柱として働き、女性は家庭に入り男性を支える。男女共働き必須と言われる21世紀でも、この願望は不変だ。

一方、英米語学科で断然目を引くのが、男子力1位のレディーファーストだ。ネイティブの先生の授業を受けたり、留学などで海外の文化に身をもって触れたりする機会が多いため、レディー

ファーストが身近に感じられる。そして、女子力に全く外面が出てこないということも、内面重視という西洋的思考の影響の現れと言えるかもしれない。
我々は知らないうちに、英語を学ぶにつつ、英語文化の影響を受けていることが分かった。この特性を就職活動にどう活かすかが、次の課題だろう。

(福永 瑛作・松山 瞳・矢野 瑞起)

活就流 15社を内定獲得した男が語ります

私は今回の就職活動で15社の内定を獲得し一度も面接に落ちる事なく終了した。なぜそんなに内定が取れたのか？とよく聞かれる。そこで今回はその理由を私の経験から導き出そうと思う。

■軸を持つ！

「日本を含むアジアという成長マーケットで、スポーツコンテナを使った新しいビジネスを創造する」これが私の就職活動の軸でもあり、人生の目標でもある。この目標は、二つの経験からたどり着いた。

一つ目はNYへの留学だ。NYには世界一のスポーツチーム、ニューヨークヤンキー

スがある。野球チームがNYの人々を、街を動かしている。野球帽はほぼヤンキー。スオンリーだし、優勝しようものなら、そのパレードの盛り上がりぶりは日本のジャイアンツのそれの比ではない。この雰囲気現地ですぐに感じ、スポーツが持つ力に可能性を感じた。

■変わらぬ行動力！

私は英語も頭の良さも人並みだ。しかし、唯一誰にも負けないものがある。「行動力」だ。金に糸目はつけない。3年後期からは大学と並行し、スポーツメーカーティンクを学ぶために専門学校に通った。年間授業料は100万円を超えた。将来を見据えた投資だと思っ

て必死に勉強した。そして現場でのインプットの間を作るためにスポーツ事業に携わる企業、外資系スポーツメーカーでのインターンシップも経験した。大学内で私以上に行動を起こした人は見たことがない。誰にも負けたくない、絶対に成功してやる。その強い思いが原動力となり行動を起させたのだ。

■待つな！

実際行動するにあたって重要なのは、他者に先んじることだ。就活は3月から解禁だと周りは言っていた

が、私は11月にはすでに動き出していた。主な情報収集源はFacebookだ。Facebook上で多くの経営者の方と相互交流をとった。自分の考えに適切なアドバイスを頂ける絶好の機会だった。

■就活はオリジナルで！

皆と同じことをしてはダメだ。自分の戦い方は自分で決める。そしてやるからには手を抜かない。他人の視線は気にしない。企業はそういう人材を喉から出るほど求めているが、新卒生にはそのタイプはなかなかいない。これが内定15社の秘訣と言えは秘訣だろう。(高橋 俊哉)



MOYEE ENGLISH

休暇中の英語の勉強はこれ！ 怠けも忘れる

長期休暇中はバイト、遊び以外では外出する気が無くなる。しかし、自分の部屋にいても、英語には全く食指が伸びない。長期休暇中の英語離れは徐々に深刻化し、目をつぶれば大学教員の上から目線の嫌味な顔が浮かんでくる。ヤバイ。このジレンマを脱したい貴方に朗報がある。勉強モードにならずに英語を学ぶ素晴らしいツールを教えよう。

映画英語勉強法 —MOYEE ENGLISH—

「アイツの英語は違う」とうならされる学生は、映画の見方が違う。彼らは洋画を英語音声・英語字幕で観ていたりする。つまり、映画で学んでいるのだ。耳で英語を聴きながら若干の時間差で英語字幕を読む、というよりは観る。読んでいると、字幕が消えてしまう。さすがに内容の理解度は落ちて楽しめる。そこで最初に英語音声&日本語字

にもなり、世界中で英語学習者に愛用されている。

英米語学科の先生 学生のおすすめ

次に、英米語学科の5人の先生方と英米語学科生Nさんお薦めの映画を紹介しよう。

●ティズニー映画—英語の 聴き取りやすさ

セリフがスラングやティーンエイジ表現、マシガンのような早口だらけの映画は、聴いていてもさっぱり分からない英語の勉強には向いていない。その点で抜群の安定感を誇るのがティズニーのアニメ作品だ。

外国語学習サイトの イチオシ

では、実際にどのような映画を観ればよいのだろうか。ネット上の外国語学習サイト FluentU、ソーシャル・ネットワークを推している。Facebookの創設者マーク・ザッカーバークの人生を描いた作品だ。

まず、現代の人々が使う自然な英語表現がこの映画では学べる。英語勉強ツールとしての映画は10年以上前の昔の名画が多く、英語表現が若干古かったりする。『ソーシャル・ネットワーク』は現代ビジネスの勉強

説なども載っている。勉強でのお役立ち度は高い。ラブ・ロマンスの人気作品『ラブ・アクチュアリー』も勉強本が出ていて、高校や大学の授業でもよく使われている。状況や立場の違いによって、俗語からフォーマルな英語までTPOに合わせた英語を知ることができる作品だ。

●アメリカについても学べ る！

映画は英語だけでなく、社会や歴史についてもベンジュアルに学べる素晴らしい教材だ。アメリカの移民の歴史について知りたければ、『遙かなる大地へ』が良い。19世紀のアメリカのオクラホマ州で実際に起こった出来事、ランドラッシュを基に物語が展開する。これは白人が未開の土地を求めて殺到した現象を指す。移民国家アメリカを実感することができる作品だ。

20世紀の戦後のアメリカ、特にベトナム戦争時代を知りたい人には、『フォレスト・ガンブ』を見てほしい。ベトナム戦争や人種問題、学生運動で激動の時代だったが、その時代のアメリカ社会がユーモアも交えて描かれている。

●英語教材本の併用も可
映画で英語を勉強するための本も出版されているので、それを使いながら観るのも良い。歴史的な事件を扱った名画、『タイタニック』、『アポロ13』などがある。教材本は、英語表現の解

●大英帝国力感の方へ

イギリス社会を知りたい人には、『英国王のスピーチ』を推したい。スピーチの練習の場面が多いので、英語全体が聞き取りやすいスリルもサスペンスも無いが、アクション映画ではないので、集中して台詞を聞くことができる。

女性の社会参画に興味がある人なら『未来を花束にして』が良いだろう。19世紀末から20世紀初頭に参政権を求めて闘ったイギリスの女性たちが描かれていて、ついでに「これでいいの日本の女性？」と考えさせられる。

好きこそもの上手なれ

最後に、どの先生も挙げた「真理」を伝授しよう。一番大事なことは、その映画、台詞、俳優などが好きで、何度観ても飽きない、そして自然に観続けてしまうということだ。思わず真似したくなるシーンや台詞があれば、登場人物になりきってしゃべってみよう。授業が始まったときには、英語力の伸びが実感できるかもしれない。

★紹介作品(公開年、推薦者)
『アポロ13』(1995年、小池知之先生)

『英国王のスピーチ』(2010年、英米語学科生Nさん)
『ソーシャル・ネットワーク』(2010年、FluentU)

『タイタニック』(1997年、小池知之先生)

『遙かなる大地へ』(1992年、小池知之先生)

『フォレスト・ガンブ』(1994年、小川貴宏先生、菅清隆先生)

『美女と野獣』(1991年、杉本孝子先生)

『未来を花束にして』(2015年、杉本孝子先生)

『ラブ・アクチュアリー』(2003年、小川貴宏先生)

『わんわん物語』(1955年、杉本孝子先生)

井口美樹・吉田なるみ



今月の3人社会人就職して「会社」って何ぞい

昨年度の卒業生が社会に出て3か月になる。1年持たずに退職する新卒生も少なくないと言われるが、実際に「居心地」はどうなのだろう。この春卒業した塩崎ゼミの先輩である林敬子さんに話を聞いた。

プロフィール
林敬子さん ガーゼ、脱脂綿、包帯など医療用品を中心に扱っている大手メーカー白十字社（創業1896年、従業員数600）に営業社員として入社。

●様々な研修修習の日々
「今はまた毎日研修です。1日中、先輩社員に同行しています。入社して3か月ですけど様々な研修を受けました」。

セル、パワーポイントなどビジネスマンとして必要不可欠な基礎知識をここで勉強する。そして、自社製品について学ぶ「工場研修」。群馬県にある自社製菓を生産しているラインに行き、製品に関する詳しい知識、情報を得る。

ここまですべて、次に営業の現場で研修を受ける。各営業部署（老人施設向け、ドラッグストア本部向け、大病院向け）に1か月ずつ派遣され、先輩に1日中行き手伝いがてら営業スタイルを学ぶ。

●長き研修修習の日々 社員じゃないの？

「それぞれの部署で先輩に同行するので配属後の仕事内容が明確にイメージできました。不満は各部署の1か月ずつの研修が長すぎる。他社は本配属がもっと早いので他社の新人と比べて少し出遅れている気がして不安」。

研修中は残業代や住宅手当（1万円）がもらえないのは、社会の厳しさか。

●親しき仲間も先輩の（先輩社員）

「先輩社員は皆さんすごく優しいです。ただ、学生から社会人への切り替えが大切だとは思いました。塩崎先生や大野先生に話すときの語調（例：「もう、先生聞いてくださいよ！」）で先輩社員に話しかけたら何回か注意されてしまいました」。

た

●土曜遊び、日曜在宅

「土日休みの使い方が学生の頃よりも上手になった気がします。土曜日はしっかり遊んで、日曜日は部屋の掃除や家で映画を見たりとまったり過ごしています」。

社会人の遊びは、横浜観光やドライブなど学生時代と大差ない。一緒に出掛けるのは、地元、大学の友人から会社の同期までと幅広い。

●気になるお財布事情

「今は生活するのにいいくらいはいいけど・・・貯金も月に2万円できるかできないかなので、これから仕事を頑張って生活に余裕を持つていきたいです」。

月給は手取りで17万5000円。1年目としては平均的金額だ。お金の使い方は以下のグラフの通り。



●会社の事は就職してから十分
約半年後に新社会人とな

る我々4年生にアドバイスをくれた。

「社会人になってから必要なことは、入社してから学んでいけば大丈夫です。入社したら生活はガラッと変わって、自由な時間も少なくなるから遊びでも、バイトでも、勉強でも、学生のうちにやりたいことは何でも挑戦したほうがいいと思います。沢山の思い出を作った来年の4月には胸を張って社会人デビューしてください」。(齋藤 慶徳)

編集後記

英米語学科新聞2号、いかがだっただろうか。私たちの服を真っ黒に染め上げた就活の最中に書かれた記事には、チームごとの色が鮮やかに表れたと感ずる。

力不足な編集長についてきてくれた記者たちには感謝の気持ちでいっぱいである。さて、就活の中で感じたのは、「親」という存在の大きさだ。

就活も一段落し、部屋を

片付けていると、一通の手紙を見つけた。冒頭には「2001年記」と「おたんじょうびおめでとう」という文字が書かれている。父が私の5歳の誕生日にくれたものだったらしい。手紙の余白部分には、父の手書きで動物や植物の絵が描かれている。絵は、雑誌の途中に1ページほど書かれる漫画くらいには上手であった。

方言が出て怖かったけれど、それでもいつも暖かさがあった。手紙の最後のところに、父の似顔絵とともに「ボサボサのあたま」と書かれているのを見て、のどを輪ゴムでぎゅっと結わいたような感じがして、息が一瞬詰まった。

最近では、父のいやな部分しか見えていなかった。見えていた部分だけで判断しそつになつていた。言葉遣いが変わつたにしろ、自分のことを思つて言つてくれているやさしさであったことに、やっと気がついた。

高校時代、美術の先生からこんなことを習った。「白と黒は色じゃない。明るさなんだ」と。服ではないうしろ、私たちは社会に出てから新しい色に染まっていくなろう。

そんな中で、暗くなりそうなきは明るく、明るくなりすぎたときは暗く、中庸を保たせてくれるのはいつも親や身近な信頼できる人であることを忘れてはならないだろうと、就活を終えた今実感している。

(編集長 舩山瞳)

我が人生と戦争

ギリシヤ留学中、隣国トルコの開戦騒ぎになった。近所の知り合いの20代後半の郵便配達夫が、「おれは前線で戦う」と息巻いていたのを覚えている。

その数日後、街の目抜き通りを戦車隊が行進するのを偶然目撃した。生まれて初めて戦車を見て、体が震え腰が抜けた。「戦争」を生まれて初めて体感した。

小学校高学年の頃、戦争本にはまった。漫画『のらくろ』がきっかけだったかもしれない。真珠湾攻撃からアジア一帯に侵攻する日本軍の活躍に心を躍らせた。そんな本ばかり読んでいた自分に親父が一度だけ鉄槌を下した。「そんな本は見たくもない。捨てろ！」

父は1936年生まれの戦中育ちだ。四国の新居浜という地方都市で育った。そこにも米軍の爆撃はあったという。

中学生になると、軍用機や戦車などのプラモデルにはまった。日本軍には目もくれず今度は「世界で最も

優秀」との誉が高かったドイツ軍の戦闘機だ。組み立てるだけでなく、専用の塗料を買ってきて塗り上げる。小中学生で「戦争」を経験したので、それ以降は「戦争」にすっかり興味が無くなった。浪人時代に広

COMON EVERYBODY

島の平和記念公園に一人で出掛けた。母は広島生まれで両親は原爆で亡くなった。生まれて初めて腹の底からアメリカと戦争に憎しみを覚えた。

平和教育は大事だが、「きれいごと」では平和は実現できない。戦争を日常生活から遠ざけていたら、戦争の何たるかが分からぬ。何でもいいから、「戦争」に感情を動かされる経験が大事なのではないか。それは戦争愛であっても構わない。それが、平和への、一見遠回りに見えるが実は最短距離なのではないだろうか。

(汐崎 惺志)

次回予告

今月のしぼり

青柳大喜
「禁煙終わった」

齋藤慶徳

「大学生終わりたくない」

矢野瑞起

「禁煙お疲れ様でした」

高橋俊哉

「母国ベトナムXin come or」

渡辺翔太

「ロシア民謡のカチューシャが頭から離れない」

岡田萌香

「カナダ戻りたい」

大和田綾花

「記事を作成するにあたって、皆さん、ご協力ありがとうございました。様々な体験談を聞かせていただき、私自身とても面白かったです」

吉田なるみ

「後期は働きます」

- ・ 内定者インタビュー
- 下田康太(交通)
- 高畑優梨(メディア)
- 大澤研太(海運)
- 湊幸也(旅行)
- 田中綾香(旅行)
- 宮崎昌平(物流)
- 林未弥佳(物流)
- ・ 大学院進学者インタビュー
- 小原賢
- ・ アメリカ留学体験記
- ・ 就活成功秘話
- ・ 英語のオススメ動画
- ...etc

池庄司明希
「次号、もっと面白いものを作れるようがんばります！オーストラリア留学オススメです！」

井口美樹

「周りに助けられながら、なんとか記事にできました！手伝ってくれた皆さん、ありがとう。私のオススメ映画は『塔の上のラプンツェル』♪」

福永瑛作

「大学生活最後の学期が始まりましたが、最後という実感が湧かない日々の連続です…。1号に続き、今回も紙面担当が出来ることを大変嬉しく思っています。次回からは担当が変わるので、お楽しみに！」

完